

ぎかいのひろば

3月定例会は2月20日～3月21日に開催されました。37件の議案が上程され、37件可決されました。

賛否の分かれた議案一覧(「○」は賛成、「●」は反対、議長は採決に加わらない)

議案番号	結果	相曾桃子	山本晃子	寺田 悟	山口裕教	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上 元	福永桂子	菅沼 淳	土屋和幸	楠 浩幸	佐原佳美	竹内祐子	荻野利明	馬場 衛	神谷里枝	二橋益良
21	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○
34	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	欠
35	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	欠
46	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠

議案第21号「湖西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」

議案第34号「令和7年度湖西市一般会計予算」

議案第35号「令和7年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算」

議案第46号「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について」

「議案第34号 令和7年度湖西市一般会計予算」について

令和7年度予算はどのように審査されました。

- 2月20日(木) 3月定例会第1日
令和7年度予算について、特別委員会で審査するように付託されました。
- 2月21日(金) 予算説明会
令和7年度の事業の具体的な内容について、当局から説明がありました。
- 3月10日(月)～12日(水) 予算特別委員会
令和7年度予算案について、17名の議員で3日間にわたり審査を行いました。
229件の質問を行い、予算案を可決しました。
- 3月21日(金) 3月定例会第6日
予算特別委員会で審査した内容を、本会議で報告後、採決を行いました。

293億円の予算(案)を認定！

人口減少対策について

Q. 人口を減少させない新たな考えを伺う。

A. 公共交通サービスの拡充、子育て世帯へのライフステージに応じた支援の推進、宅地の供給や空き家の利活用など「暮らしやすさの向上」を図り定住へとつなげていく。また、「まちを元気にする」取り組みとして、新居関所周辺の活性化や鷺津駅・新所原駅周辺での新規店舗の開業支援を展開し、湖西市の魅力を向上させ、若者に「住みたい」と思ってもらう施策を進めていく。



竹内祐子

持続可能な公共交通に向けて

Q. 住みよい湖西市のために、公共交通の整備をどう進めるのか、市長の考えは。

A. 試行的にデマンド交通の運行曜日の追加や時間帯の拡大などを行い、利用者ニーズや運行上の課題、市の負担などを確認の上、コミュニティバスも含め公共交通全体を検討する。また、持続可能な移動手段確保には、各地区の特性に応じて、さまざまな主体が連携・協働して、既存の公共交通を補完していくことも考える。



福永桂子

障害者支援について

Q. 相談支援サービスの利用計画を作成する指定相談支援事業者が併設する障害者作業所の経営を圧迫している状況について、どうお考えか。また、相談所は他の作業所よりも障害者の利益となる対応ができるのか。

A. 計画相談支援事業の収入は、相談員の人件費にも満たないが、支援を他のサービスにつなげることで法人運営に寄与している。今後は作業所の収益を増やす支援を行い、経営改善につなげたい。



土屋和幸

受け入れ対象者事前登録制の福祉避難所

Q. 当市も令和3年に国が制定した、対象者を限定(事前登録)し、災害時避難行動要支援者が自宅から直接避難できる福祉避難所に変更し、福祉施設が困らない形に検討する合議体を設置して推進してはいかがか。

A. 6つの指定福祉施設から被災時における入所者の避難や可能な在宅者支援等を聴き、福祉避難所の設置場所や運営方法等の調査を基にゼロベースで医師会等を含めた検討会で検討を開始する。



佐原佳美

環境センター焼却炉再稼働後の状況について

Q. 資源循環型社会を目指しごみ焼却炉の再稼働開始後1年が経過したが、設備故障の有無、公害防止条件を満足しているかなどの稼働状況は。

A. 焼却炉は試運転の後、性能試験・処理能力・公害防止条件を満足することを確認している。令和6年2月からの正式運用後も焼却量や各種公害防止項目の測定値、焼却熱利用の発電、アメニティプラザへの熱供給等が要求水準通りできており、問題の発生はない。



加藤治司

財政健全化対策について

Q. 社会保障関係経費など経常経費が増加する中、老朽化した公共施設などの更新費用など、投資的経費の増額が見込まれるため、現在未使用となっている公有資産の有効活用による財源確保を図っていただきたい。

A. 公共施設再配置個別計画に基づき、建物を解体せずに庁内での用途転用、跡地活用、市有地売却、地元自治会への譲渡など、さまざまな活用策を検討している。新居焼却場は今後解体し、白須賀幼稚園は有効活用したい。



神谷里枝

施政方針について(湖西病院)

Q. 無理なコスト削減が医療の質の低下や働く職員のモチベーション低下につながり、市民の安心安全の医療提供に悪影響が出るのではないか。

A. 医師、看護師などのスタッフが病院の稼ぐ力と考える。材料費の契約内容を見直すなど、無駄を減らすことに加え、医療従事者の不足を解消することを最優先し、タスクシフト/シェア導入など、病院スタッフのモチベーションを上げることで経営改善につなげたい。



相曽桃子

教育行政の方向性について

Q. 不登校児童生徒への支援として、教育委員会の考えと、個別最適な教育の推進に向け、オルタナティブ教育など、特色ある教育の導入について、今後の方針や取り組みの可能性は。

A. 不登校児童生徒支援として、令和7年度から市内3中学校に校内教育支援センターを設置し、教職員OBを優先に指導員を配置予定。特色ある教育では、オルタナティブ教育などの要素を公立学校に取り入れる可能性を含めて研究する。



楠 浩幸

オルタナティブ教育：従来の学校教育とは異なるアプローチで子どもの学びを支援する教育のこと。

市内農耕地の活用と農業経営の持続的発展

Q. 多面的機能支払交付金の申請状況は。

A. 令和7年度から、湖西用水土地改良区が交付に係る事務を受託するための団体を設立し、13組織の内8団体が参加予定である。今まで交付金の活用を見送っていた地区も新たに参加予定となっている。本交付金を活用し、農村環境保全や農業用施設の維持管理が可能となり、地域全体での農村環境の維持・向上が期待される。



滝本幸夫

少子高齢化、世帯数減少による空き家対策

Q. 空き家対策が進む高崎市では、人口減少が進む地域の空き家は家賃の一部を助成する制度があるが、湖西市でも取り入れてはいかがか。

A. ご提案の助成制度は、移住定住を促すソフト面での施策の一つと認識している。空き家改修などのハード面での支援策と、移住定住へのソフト面での施策との相乗効果により、空き家の利活用が効果的に広がるよう、研究していく。



山口裕教

基盤施設の点検について

Q. 八潮市の道路陥没事故。思い出すのはミネアポリスの高速道路とソウル聖水大橋の崩落事故。築年数を過信してもいけないし、専門家の判断を鵜呑みにしてもいけないことが教訓。市民の代弁者として基盤施設全体に専門家と論争できる人材の育成が必要ではないか。

A. 議員の指摘に同感。職員研修を常に行い職員の質問力をつけて、この点検でいいのか、この判断をなぜ下したのかを専門家に迫る手強い職員を育てたい。



三上 元

廃棄物・資源循環分野の現状と課題について

Q. 廃棄物分野の脱炭素への取り組みは。

A. 環境センターの取り組みに加えバイオガス発電に関し、バイオガス精製の資源となる下水道汚泥を中心に、し尿、浄化槽汚泥、生ゴミ、豚糞等のバイオマス資源を活用し、CO₂削減効果や費用対効果、地域への影響を総合的に検討し、事業性の評価を整理している。また、産学官連携で小規模処理場に向けた高効率メタン発酵システムの実証実験を実施し、事業性の確保を目指す。



柴田一雄

学校給食の無償化について

Q. 影山前市長は中学校の給食費を無償化したが、小学校についても実現を考えていたと思う。新市長として、この課題をどのように解決するかを考えは。

A. 物価高騰により、小学校給食費の1食単価を46円(14%)引き上げる必要があるが、子育て世帯の負担軽減のため、令和7年度はその半額(23円)を補助する。小学校給食費の無償化については、国の動向を見守りながら検討する。



荻野利明

施政方針について

Q. 高齢者福祉について、介護予防の強化を図るために単位老人クラブの協力や活用が有効と考えるが市長の考えは。

A. 有効と考えている。本市は、介護予防教室の開催を通じて高齢者の健康づくりや社会参加を促進している。老人クラブへ教室などの情報を積極的に提供して会員の参加を促し、そこで得た知識や経験を単位老人クラブに還元していただくことを期待している。老人クラブの活性化にもつながると考えている。



寺田 悟

外国人人口増加に伴う課題と今後の取り組み

Q. 湖西市の外国人比率は現在7.3%。税金・社会保険料の不納欠損額の36.4%~49.4%が外国人によるものである。今後の市としての対策は。

A. 不納欠損額は日本人、外国人共に増加しているため、徴収に対しての理解を深めていく。納税に対して支払い能力があるのか調査し、能力があれば滞納処分と徴収を行い、制度や税金、社会保険料がどのように活用されているのかを理解していただくよう努める。



山本晃子

市長施政方針について

Q. 湖西病院建設構想は、いったん中断し経営改善のめどが立った後、検討するとのことだが、持続可能な病院経営は、どのようなものか。

A. 地域医療において必要な医療提供体制の確保を図るため、経営強化プランに掲げた取り組みを進め、公立病院が担う役割・機能を明確にし、まずは湖西版の「コミュニティ・ホスピタル」を実現することが必要であると考えている。



二橋益良

YouTubeは
こちら

本会議のインターネット放送を行っています。注意事項を確認のうえ、ご覧ください。

3月定例会の再生リストはこちら▶



常任委員会予算審査の流れ

- 3月4日(火) 3月定例会第2日
各常任委員会へ予算審査を付託しました。
- 3月13日(木)～17日(月) 各委員会
付託された予算の審査を行いました。
- 3月21日(金) 3月定例会第6日
各常任委員会で審査した内容を、本会議で報告後、採決を行いました。



各予算(案)を認定！

審査内容の一部を紹介します //

総務経済委員会 3月13日

- ◆ 付託議案
 - 国民健康保険事業特別会計
 - 後期高齢者医療事業特別会計

◆ 審査内容(国民健康保険)

Q. 一般被保険者高額療養費が増額となった試算根拠は。

A. 療養給付費は、例年、前年度の実績見込みを計上しているが、高額療養費については、医療技術や医療体制が高度化し、より精密で効果的な診断や治療が可能となっていることから、年々増加傾向にある。令和7年度予算は、令和6年度の実績見込額の約5億3,000万円に、令和3年度から令和5年度までの平均伸び率1.08を乗じて算出している。

福祉教育委員会 3月14日

- ◆ 付託議案
 - 介護保険事業特別会計
 - 湖西市病院事業会計

◆ 審査内容(病院)

Q. 入院収益を前年度比1億548万5千円増額とした理由は。

A. 経営強化プランに基づき、病床利用率は一般病棟70%、地域包括ケア病床80%を目標とした。地域包括ケア病床の病床化により入院患者が増加していることや、令和7年度は総合診療医1名の赴任による入院患者数の増加が見込めることから、1日平均入院患者数は7名増の80人と設定し、前年度比1億548万5千円の増額となった。

建設環境委員会 3月17日

- ◆ 付託議案
 - 公共下水道事業会計
 - 水道事業会計

◆ 審査内容(水道)

Q. 令和7年度の水道スマートメーターの設置計画は。

A. 令和7年度に約4,800個の設置を計画しており、対象エリアは、鷺津、古見、吉美、新居中央、橋本、西浜名、内山、郷南地区とする。令和7年2月末時点で約26,750個に対し、令和7年度末の累計設置数は約15,000個(56.1%)となる見込みである。なお、水道スマートメーターおよび通信端末の購入には国の補助金を活用し、コスト削減を図る。

ぎかいのひろばを スマホでも！

マチイロ を使えば、

ぎかいのひろば をスマートフォンで読むことができます。

(※別途通信料が掛かります。)

利用
方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



議会だよりのアンケートにご協力ください。



編集

加藤 治司 相曽 桃子 滝本 幸夫
山口 裕教 寺田 悟 山本 晃子

次回は
令和7年8月15日発行予定です

発行／湖西市議会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

